

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ソレイユの森麻生 放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	令和6年11月22日		～	令和6年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49名	(回答者数)	35名
○従業者評価実施期間	令和6年12月9日		～	令和6年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月6日		○公表日	令和7年1月24日

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・体操や集団活動を通してルールや人との関わり方を経験して身体を動かしながら社会経験ができる。	・ルールや約束事を都度確認して子どもたちに伝えている。忘れていたり、理解が難しい子どもに対して個別に再度伝える等行っている。 ・集団で崩れてしまった子どもがいる際は指導員とどうしたらよいか一緒に考えて行動する機会を設けている。	・継続して職員全員が意識や工夫していくとともに様々な場面を子ども達に経験してもらい、社会性を身に付けてもらう。
2	・室内でものびのびと身体を動かすことのできる広さや屋外活動を取り入れることでストレス発散や楽しみを得られる環境を提供できている。	・それぞれの子どもが満足できるように子ども同士の話し合いや指導員の声かけでお互いが満足できる遊びスペースの確保をしている。 ・土曜・祝日で屋外活動を取り入れてよりのびのびと活動できる空間を提供している。	・ストレス発散しやすいものやみんなで楽しめる道具を増やしていく。 ・可能な範囲で屋外活動の回数を増やしていく。
3	・一人一人個別的なカリキュラム設定を行っており、その日ごとに子ども達の様子を保護者と共有して子どもの成長を確認することができる。	・体操や遊びの中から子どもの身体能力や認知面等を評価してその子どもの特性にあった運動方法を提供している。 ・子どものできるようになったことを都度保護者に伝えるように意識している。	・保護者から得た情報や各職員が気になった場面等の情報共有を密に行い、より子どもの特性に合わせたカリキュラム設定を行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・コロナ禍後の当事業所の施設環境や全体の雰囲気等を保護者に周知しきれていない。	・実際の様子を見れる機会を設けていない点。	・利用児童の保護者の見学機会を設けたり、時間が作れない保護者には写真や動画で実際の雰囲気伝える等を検討していく。
2	・家族支援や研修会等の知識を提供する機会が少ない。	・保護者対応時にどのような工夫をして子どもと関わっているかや助言を伝えきれていない点。 ・研修会に参加した知識をアウトプットできていないこと。	・どのようにしたら成功したか等のエピソードを絡めて助言をしたり、研修会等で得た知識をアウトプットするように心掛ける。
3	・地域交流や保護者会等の開催が少ない。	・保護者会を企画する時間がない。 ・保護者の地域交流に対してのニーズを聴取できていないこと。	・保護者アンケートで地域交流に対してのニーズを聞き、応えられるものに対応していく。

事業所名 ソレイユの森麻生 放課後等デイサービス

公表日 令和7年1月24日

利用児童数 49名

回収数 35名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	7		2	・元気に走り回れるスペースがあって良かった。 ・他施設と比較するとどうしても狭く感じている が立地しようがないと思っている。	・ホールと保育室の2つの部屋を使用して 子どもたちがのびのび遊べる環境を心掛 けていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	35				・適切だと思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	4		4	・コロナ禍後見学に行っていないからわ からない。	・バリアフリー化はされていませんが子 どもたちが視覚的にわかりやすい環境づ くり、工夫を心掛けています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	2		6	・子どもがのびのびと動かせる環境に なっている。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	35				・一人一人個別のその子どもにあったカ リキュラムを毎回立ててもらっている。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	33	1		1		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	35					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	29	3		3		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	30	3		2	・跳び箱や鉄棒、集団でのルールのある 遊び等、様々なものが取り入れられてい る。	・引き続き子どもたちが楽しめる内容を 作っていけるように心がけていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	4	5	10	16	・地域の公園に連れて行ってきている ので交流？と思う。	・公園や公共施設に行く際に出先でデイ サービス以外の子どもたちと一緒に遊ん でいる姿が見受けられます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	35				・説明してもらえました。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	35				・毎回説明してもらえている。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	11	3	9	12	・コロナ禍になり難しくなったと思いま すが、そろそろ実施を期待しています。	・職員が得た情報等を提供できる際には 共有していきたいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	35				・子どもの成長で困りごとがあった際に よく相談させてもらっている。	・引き続きその日にあった出来事を共有 しながら情報交換していきたいと思いま す。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	10	3	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34			1	・いつも否定せずに親の話を聞いてくれ たり、子どもの様子を教えてくれるので安心し て子どもを預けることができています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	16	16	・今後、期待している。	・卒業生の発表会等で交流できる機会は 設けています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	2		8		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	2		2	・送迎時にその日の様子や出来事等を教えてくれる。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25			10		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	2		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	1		7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28			7	・避難訓練をしたり、おたよりで詳しいことを教えてくれる。	・継続して避難訓練は年に2回行っていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	5		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	1		5	・怪我をしたことはないが、体調不良の時はすぐに連絡をくれた。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	35				・楽しそうに元気に通っている。	・継続して安心できる事業所作りを心掛けていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	31	3		1	・楽しそうに通っている、その中でいろいろな経験を積ませてもらい助かっている。	・継続して子どもたちが楽しみながらたくさん経験を積める環境を提供していけるように職員一同で工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	35					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ソレイユの森麻生 放課後等デイサービス		令和7年1月24日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・場所を区切ったりして安全に遊べる環境を確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			多動の児童の気を引く物が目につきやすい場所にあり、物の配置等検討が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・パーティションで仕切る等の工夫をしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部評価の機会は少ないように感じる。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・過去の内容と照らし合わせながら固定化されないように幅広い内容を取り入れるよう努めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・児童で選択をする機会を増やせるように工夫している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・協力医療機関あり。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・ミニ児や児童館お迎えでの引継ぎの際、情報交換してから引き継いでいる。 ・帰りの会前に指導員での情報交換の時間を設けている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・設ける時間を確保するのが難しい現状。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			